

# DAIKOU

## ルームランナー

# DK-0910W

## 取扱説明書



この度は【ルームランナー DK-0910W】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

- ◎ ご使用前に本説明書を最後までお読み頂き、内容を理解されてから正しくご使用下さい。
- ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、送り状の控えとともに大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は家庭用です。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合がありますのでご了承ください。
- ◎ 計測数値等に関しましては、多少の誤差がございますので御了承ください。

## 安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告** 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



**注意** 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



**警告**

### ☆使用上の警告

- 1) 無理をせず遅いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 2) お子様、本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様近づかないようにして下さい。お子様、お年寄りの方が運動される際には、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方  
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人工心肺装着の方)
- 4) 分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理の際は販売店までお申し付け下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。
- 8) ペット等に本機をご使用にならないで下さい。

### ☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
  - 電源は定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
  - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
  - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
  - コンセントの差し込みが緩い時。
  - 電源コードの上に重いものを載せた時。
  - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
  - 濡れた体でプラグ・電源コード等に触れた時。
  - 長期間ご使用にならない時。  
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
  - 中継線(延長コード)を御使用の時。  
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
  - 電源コードの先にはアース線が付いております、万一の漏電事故を防ぐため、接続してください。
- ③ モーター保護のため 60分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



## 注意

### ☆ 使用上の注意事項

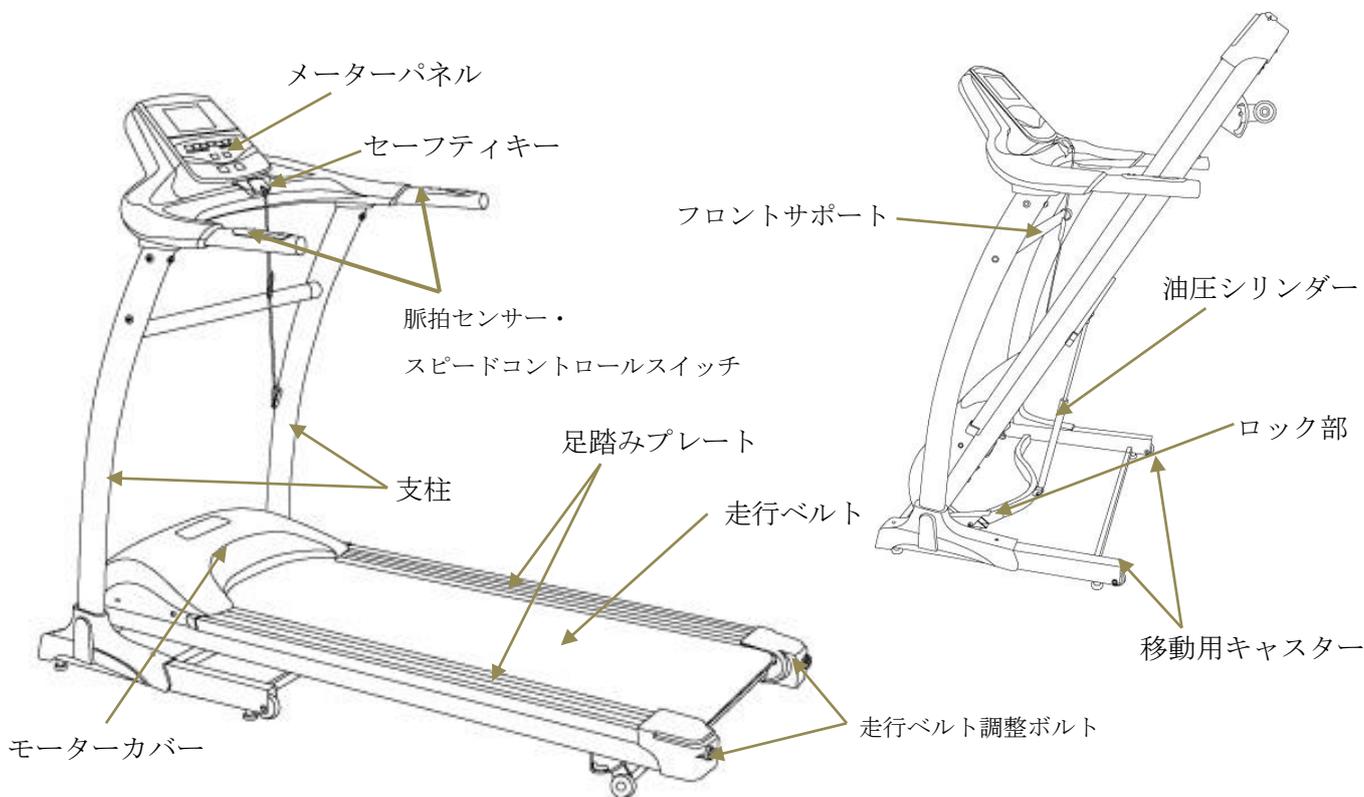
- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。  
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の際は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られていますので、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) **体重が100Kg以上**の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
  - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
  - ・屋外の設備（屋根付ガレージ等）、床面がコンクリート敷きの場所や浴室付近等の湿気の多い場所
  - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
- 9) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にして頂き、特に幼児が触らない様注意して下さい。

### ☆ 保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険のため必ず確認してからご使用ください。ベルトは消耗品のため3ヶ月以上ご使用のものは有償となります。
- カバー類、ハンドル部ラバー、足踏みプレート等の破損に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- ベルトが偏ったときはベルトの調節方法を見て調節を行って下さい。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。

## 仕様

品名	／ ルームランナー	傾斜角度調整	／ 手動式（3段階）
品番	／ DK-0910W	電源	／ AC100V 50～60HZ
材質構造	／ スチールパイプ・合板ボード・ウレタン	消費電力	／ 1000W
メーター	／ ABS樹脂	コードの長さ	／ 2.0m
表示方式	／ 液晶パネル	ベルト支持構造	／ 摩擦式
使用用途	／ 電動式（歩行・走行用）	ベルト幅長さ	／ 40×120cm
スピード	／ 0.8～16km/h	ローラー	／ 2本
脈拍検知方式	／ グリップ式	モーター	／ 2.5馬力
重量	／ 62kg	生産国	／ 中国
寸法	／ W76×L165×H132（cm）		



### ネジ類・組立工具・付属品：



8×60mmボルト  
2本



8×16mmボルト  
10本



4×16mmネジ  
4本



8mmワッシャー  
2枚



連結ブッシング  
2個



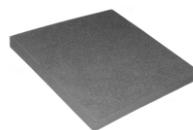
スパナ  
1本



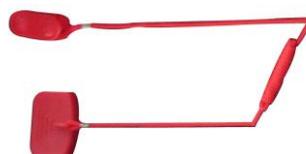
六角レンチ  
1本



プラスドライバー  
1本



床保護パット  
6枚



セーフティキー  
1個



電源コード  
1本

# 組立説明

## 組立を始める前のご注意

- ※ 組み立てる前に、絶対電源コードを接続しないで、広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 作業をする前には、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認して下さい。
- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 本機を箱から出したら、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で行ってください。横倒しでロックを解除すると本体と脚部フレームが勢いよく開きますので、ご注意ください。
- ※ 組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。

## 組立方法

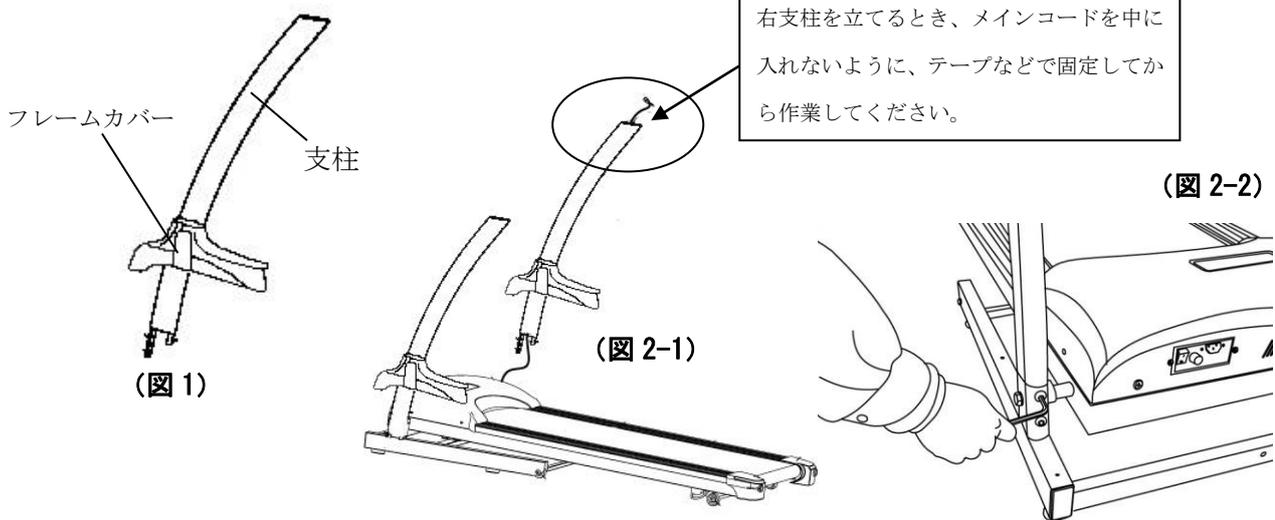
### 1. 左右支柱にフレームカバーを差し込み、支柱をフレームに固定します。

左右支柱にフレームカバーを差し込みます。(図1)

本体右側にあるメインコードを右側支柱に通します。

(\*支柱上側から紐等を通してメインコードを結び付け、引き上げると通しやすいです。)

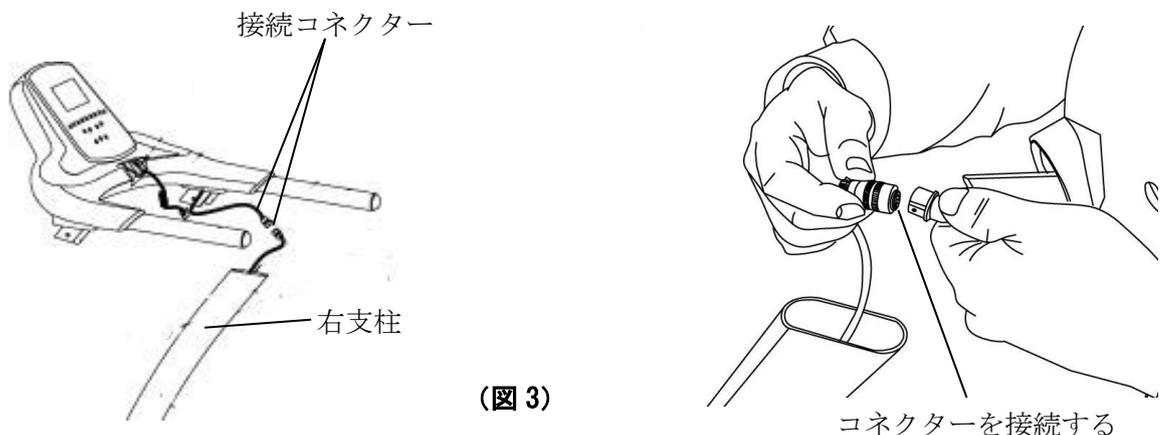
左右支柱を立てて本体に差込んで(図2-1)、#8×16mmボルトで固定します。(図2-2)。



### 2. パネルとメインコードを接続します。

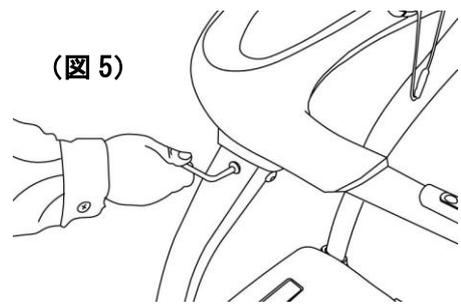
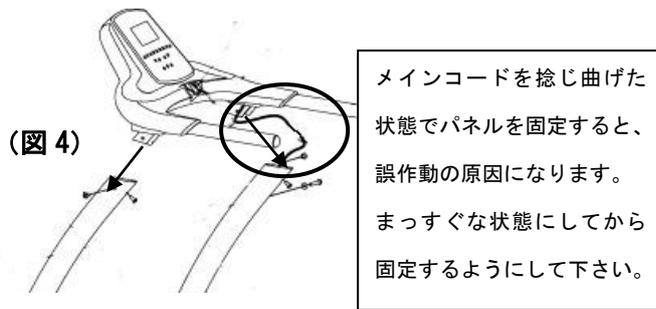
パネル内にある接続コネクタと右支柱にあるコネクタを接続してください(図3)

(\*パネルが重いので必ず2人以上で作業をして下さい。)



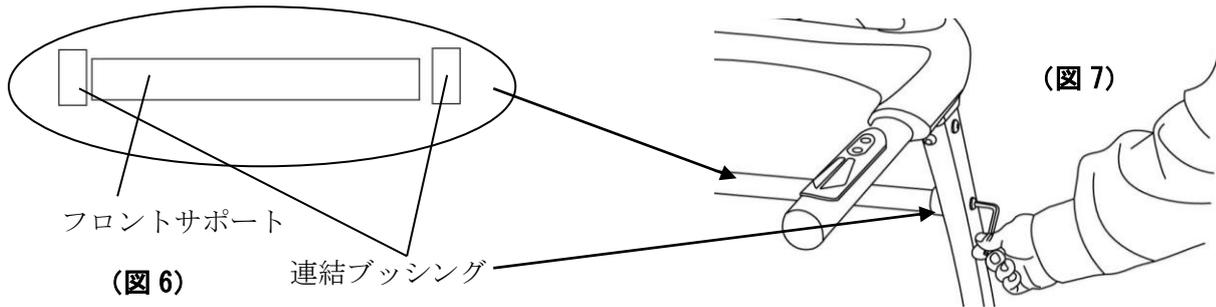
### 3. パネルを支柱に固定します。

パネルを左右それぞれの支柱に収め (図 4)、最後に 8×16mm ボルトで固定します。(図 5)。



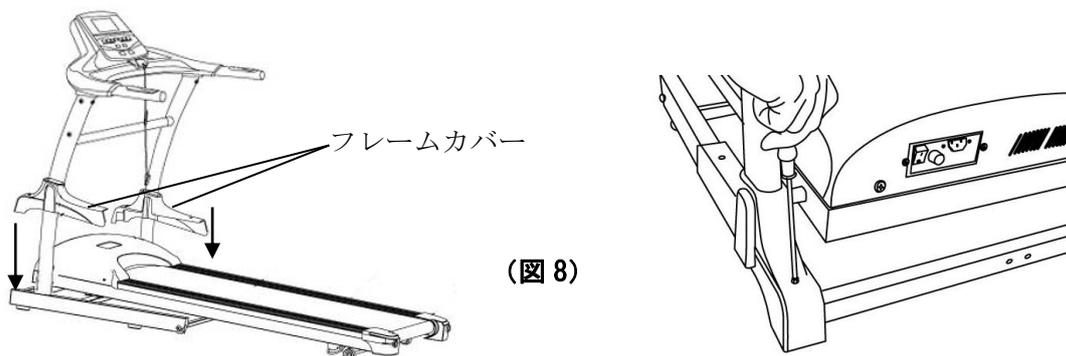
#### 4. フロントサポートを固定します。

フロントサポートに連結ブッシングをはめて (図 6)、8×100mm ボルトで支柱に固定します。(図 7)



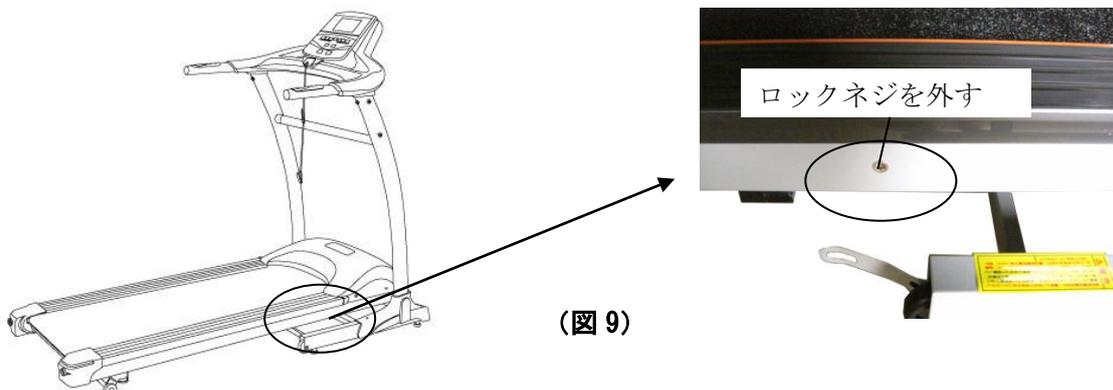
#### 5. 左右フレームカバーを取りつけます。

支柱についているフレームカバーを降ろし、4×16mm のネジで固定します。(図 8)



#### 6. 最後に、ロックネジを外します。

本機は、横倒しで本体と脚部フレームが勢いよく開くことを防ぐため、横側からロックネジで走行板を固定しています。このロックネジを解除しないと、走行板を折り畳めることができませんので、組立作業が終了したら、必ずこのネジを外してください (図 9)。

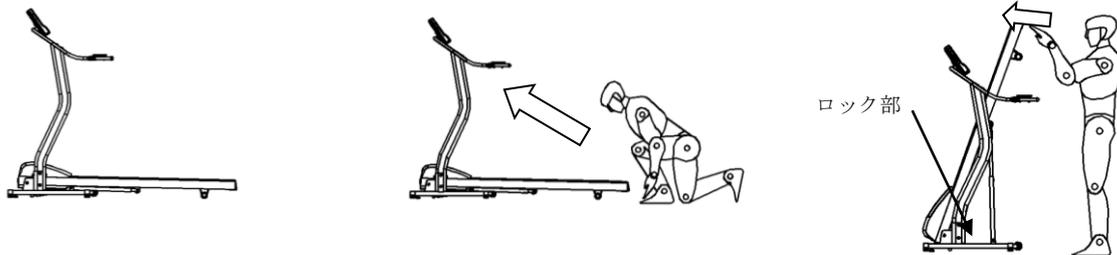


## 折りたたみ方法と折りたたみ解除方法

- ・本機の折りたたみとその解除を行う際、必ず床面が平坦である・障害物に乗り上げていないことを確認して下さい。本機の水平が保たれていない場合、突然倒れ破損や、怪我を負う恐れがあります。

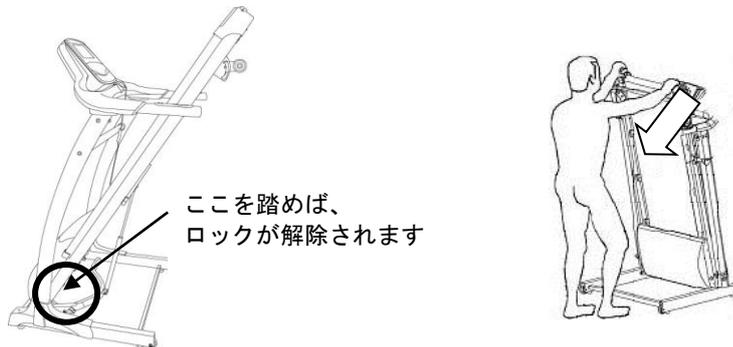
### 折りたたみ方法

- 1 本体は平らな状態であることを確認してください。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。
- 3 『カチッ!』と音がするところまで起こし、ロックされていることを確認してください。



### 折りたたみ解除方法

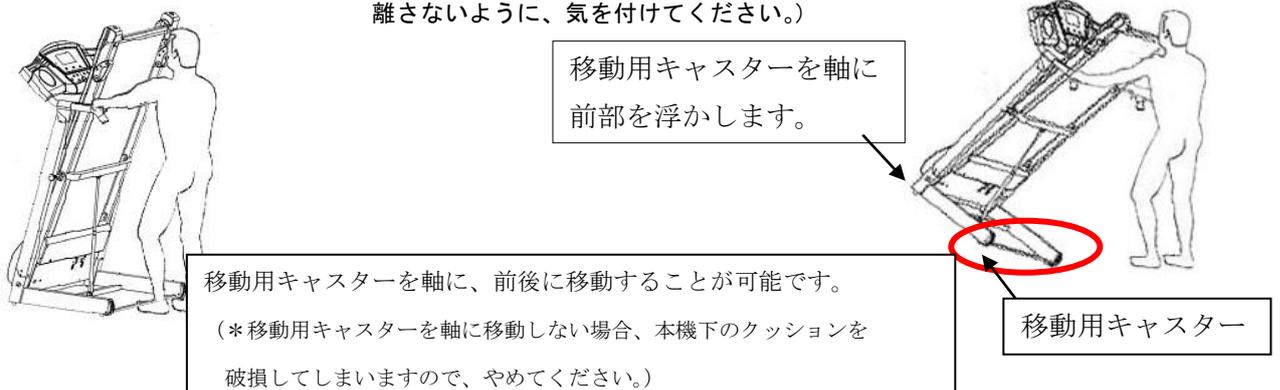
- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
- 2 両手で本体を押さえて、脚でロック部を踏んでロックを解除して下さい。
- 3 両手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろして下さい。



### 移動方法

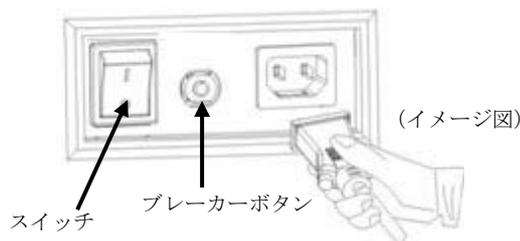
- 本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり・障害物が周りがないことを確認してから行ってください。本機は重量がありますので、床面に傷がつくことがありますので、移動の際には敷物等をご用意下さい。  
(\* 体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをお勧めします。)

1. 折りたたみ状態にし、ハンドル部を握ります。
2. 移動用キャスターを軸に、前部を浮かせます。  
(\* 握っているハンドルから手を離さないように、気を付けてください。)



## 起動方法 (本機で運動なさる場合には運動靴を履くことをお勧めいたします。)

- 1 本機を折りたたんでいる状態の場合、安全を確保しつつ、折りたたみを解除し、運動できる状態にして下さい。
- 2 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込んで下さい
- 3 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
- 4 電源スイッチを入れて下さい。
- 5 ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター下部にある「カギ」のマークに重なるようにセーフティキーを置いて下さい。
- 6 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節してください。(スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが外れることにより、ベルトが自動的に止まり、全ての走行ベルトが停止します。)
- 7 運動目的に合わせコンピューターの操作方法を参考に設定し、運動を始めて下さい。



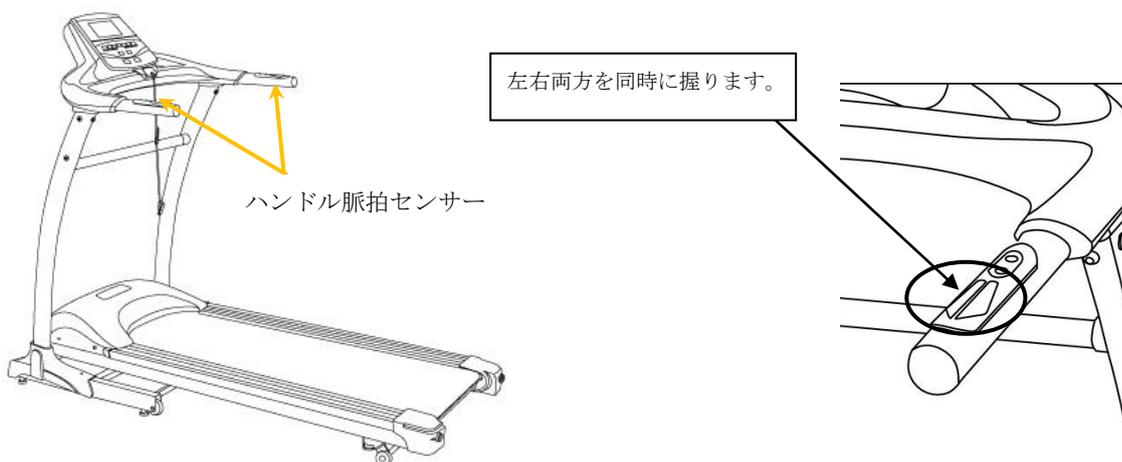
※ブレーカーボタンは商品保護の為のものです。  
過剰な電流が発生時、ブレーカーボタンが自動的に電源を切ります。この場合一度電源スイッチを切り、再び入れ直して下さい。次に、ブレーカーボタンを押して下さい。



## 簡易心拍数表示機能

運動中、左右ハンドルにあるハンドル脈拍センサーをそれぞれ握り、表示画面に心拍数が表示されます。  
(下図) 握っても表示されない場合は、手をこすり合わせてから再度握って下さい。

\* 数値は簡易的に計測されていますので、実際の数値とは誤差がございます。



## 角度調整方法

本商品を使っていただく方に、いろいろな運動効果を得るために、角度を調整できるようにしています。後脚のフレームを動かす事で、3段階の角度調整ができます。(下図)



## 終了方法

- 1 目標運動終了もしくは運動を終了する場合、まず安全に左右足踏みプレート中央部に乗って下さい。
  - 2 ストップボタンを押して下さい。走行ベルトが徐々に遅くなっていきながら止まります。
  - 3 安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
- \* セーフティキーを抜いて終了することは、おやめ下さい。

※ 本機を使用途中で一時停止する場合は停止ボタンを1回押し、完全に停止する場合は停止ボタンを2回押して下さい。  
一時停止を解除する場合はスタートボタンを押して下さい。そうすると、一時停止する前のデータで再び走行ベルトが動き始めますので、十分ご注意ください。

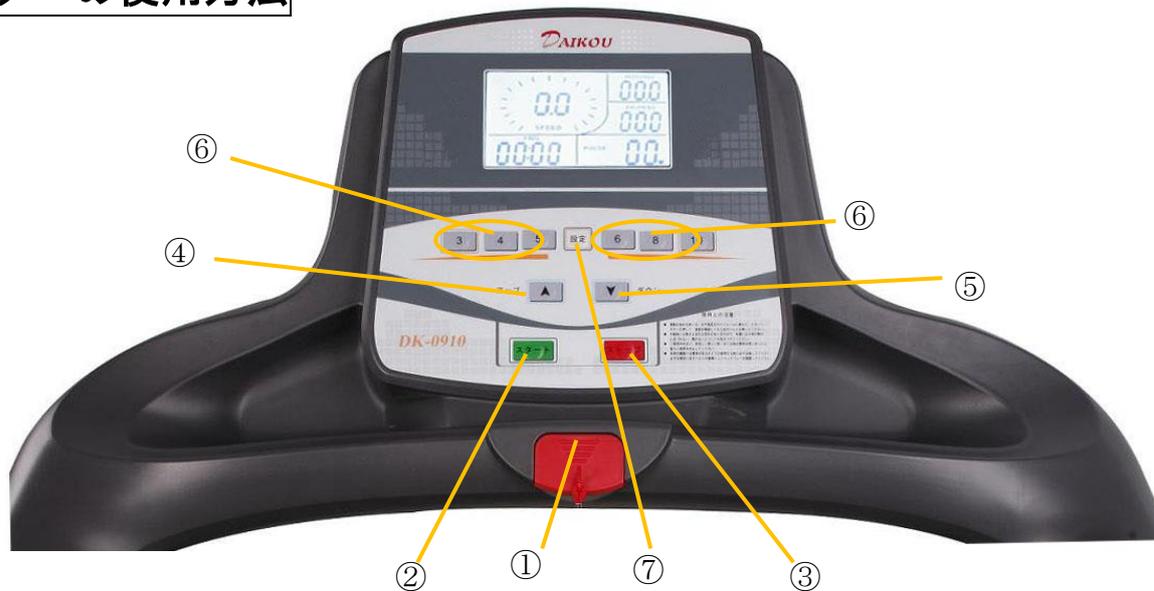
### <使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は**60分**までです。
2. つぎに使用するときには、先に使った時間の**2倍以上**の時間をおいてからご使用ください。  
(例：30分間使用⇒60分以上機械を休ませる。(スイッチ等も切る)⇒新たに使用開始)
3. 一日の総使用時間の限度は**3時間**までとします。

\* シリコンスプレーを定期的に使用することも忘れずに！(P14、15参照)

## メーターの使用方法



### ● ボタンの説明

#### ①セーフティキー

本機は安全のため運動中についていけない場合や足をとられた場合にベルトが自動的に止まるように設定されています。必ずセーフティキーのクリップを衣類につけてから運動してください。

#### ②スタートボタン

運動の開始とプログラムの作動を行います。

#### ③ストップボタン

一時停止と運動の停止を行います。

停止後、長押しをすることにより表示が「0」になります。

#### ④アップボタン (△)

ベルトの速度をあげます。

時間・距離・カロリーの目標数値を入力します。

#### ⑤ダウンボタン(▽)

ベルトの速度を下げます。

時間・距離・カロリーの目標数値を入力します。

#### ⑥ワンタッチ速度ボタン

[3][4][5] [6][8][10]を押すと選択した速度になります。

#### ⑦設定ボタン

プログラムを選択します。

(時間→距離→心拍→1P~18Pの順で変わります。)

## ● 各運動プログラム入力方法

### ○ マニュアルプログラム

このプログラムは目標とするものを設定せずに運動頂くものです。ご購入直後本機に慣れていない時期には本プログラムの御使用をお勧めします。

- 1 スタートボタンを押して下さい。
- 2 時間表示画面がカウントされ、アップボタン(△)やダウンボタン(▽)スピードワンタッチボタンを押すことにより、お好みの速度で運動ができます。
- 3 停止する場合はストップボタンを押して下さい。

### ○ 目標時間設定プログラム

このプログラムは、目標時間を設定し、運動して頂くものです。設定した時間よりカウントダウンで表示されます。

- 1 設定ボタンを押して時間を点減させて下さい。
- 2 「アップ(△)」「ダウン(▽)」ボタンを押して数値を増減させ、目標時間を表示させて下さい。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
- 4 目標時間設定は1:00(1分)～99:00までとなっています。

※ 尚、設定時間は1分単位での設定となり秒単位では設定出来ません。

### ○ 目標距離設定プログラム

このプログラムは、目標距離を設定し、運動して頂くものです。設定した距離よりカウントダウンで表示されます。

- 1 設定ボタンを押して距離を点減させて下さい。
- 2 「アップ(△)」「ダウン(▽)」ボタンを押して数値を増減させ、目標距離を表示させて下さい。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
- 4 目標距離設定は0.1(100<sup>歩</sup>)～9.9(9.9<sup>km</sup>)までとなっています。

※ 尚、目標距離は0.1<sup>km</sup>(100<sup>歩</sup>)単位での設定となります。

### ○ 目標心拍数設定プログラム

このプログラムは、目標心拍数を設定し、その数値に近い状態で運動して頂くものです。

設定した心拍数に向けて速度が変化します。

- 1 設定ボタンを押して距離を点減させて下さい。
- 2 「アップ(△)」「ダウン(▽)」ボタンを押して数値を増減させ、目標心拍数を表示させて下さい。
- 3 スタートボタンを押すと2.8km/hからベルトが動き出し、左右ハンドル部の脈拍センサーを握りながら運動を行います。
- 4 目標心拍数設定は50～160までとなっています。

※ プログラム使用中には、スピードの自動変化がありますので、ご使用中に転倒などがないようくれぐれもご注意ください。

※ このプログラムは、自分が目標設定した心拍数に近づけるために速度が変化しますので、運動中等の心拍数との誤差がございますのでご了承ください。

## ○ 1P~18P プログラム

\*設定によっては、最大使用時間（60分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

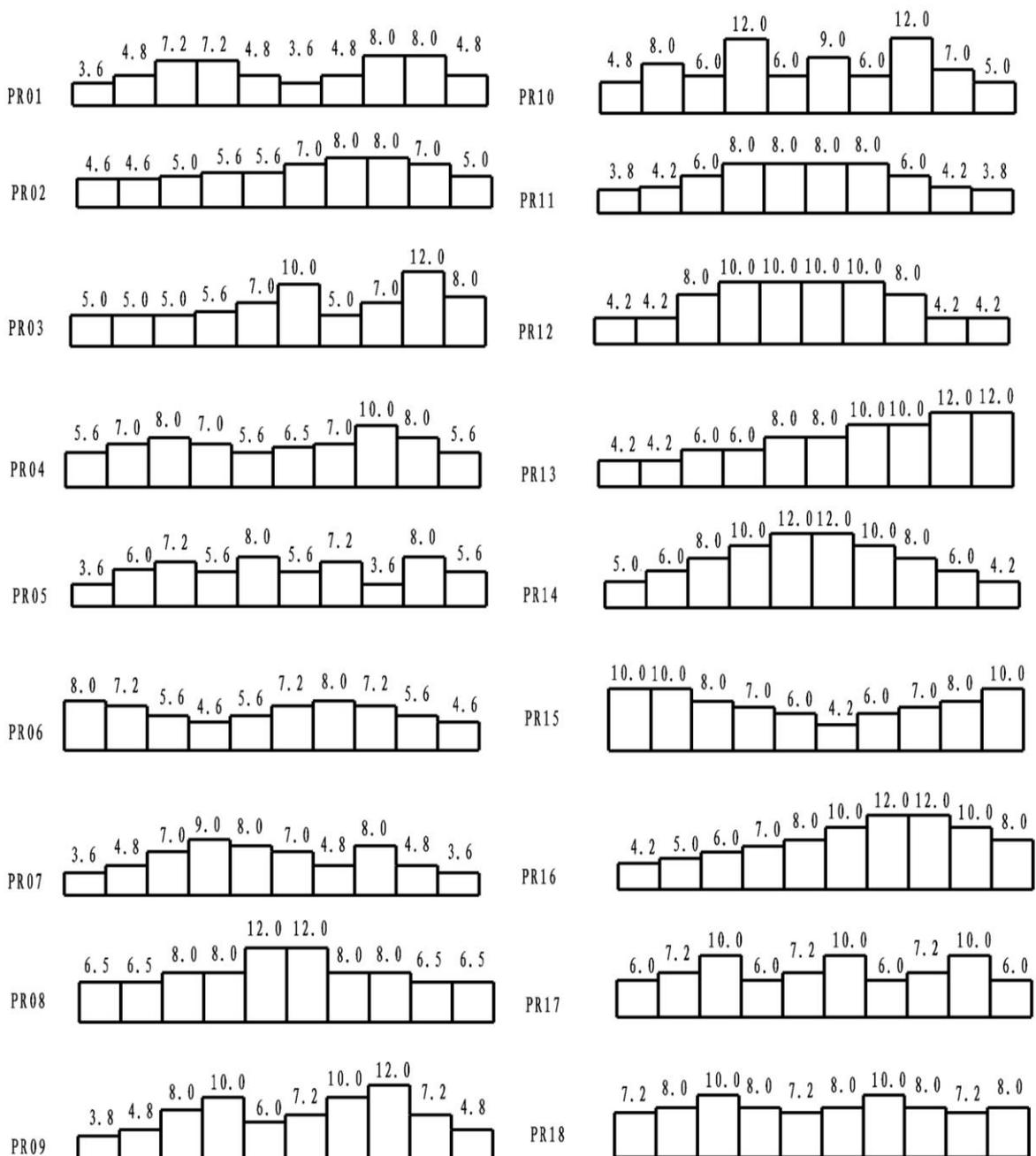
### 設定方法

- 1 プログラム設定ボタンを押すと、スピードの窓口に“1P~18P”が表示されます。
- 2 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。

1P~18P 各プログラムには、設定された距離に応じて、プログラム内容が10段階 **200メートル**ごとに分かれて作動をします。各段階が終ると「ピッピッピッ」という音で知らせします。時間の経過ごとにスピードが自動的に変化します。

※ プログラム使用中には、スピードの自動変化がありますので、ご使用中に転倒などがないようくれぐれもご注意ください。

(スピードの変化状況は下図の通りとなっております。)



## 保守・運用について

### 走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で不具合がない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合に、ベルトの調整を行うようお願いいたします。

\*注意：ベルト調整をする場合、3～5km/hの速度で調整をして下さい。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損するおそれがありますので、慎重に調整を行ってください。

使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいいかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが持ち上がらない（縦に指2本程度入らない）場合

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだベルトが5cm以下である場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合

- 1 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが左に寄っている場合

- 1 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

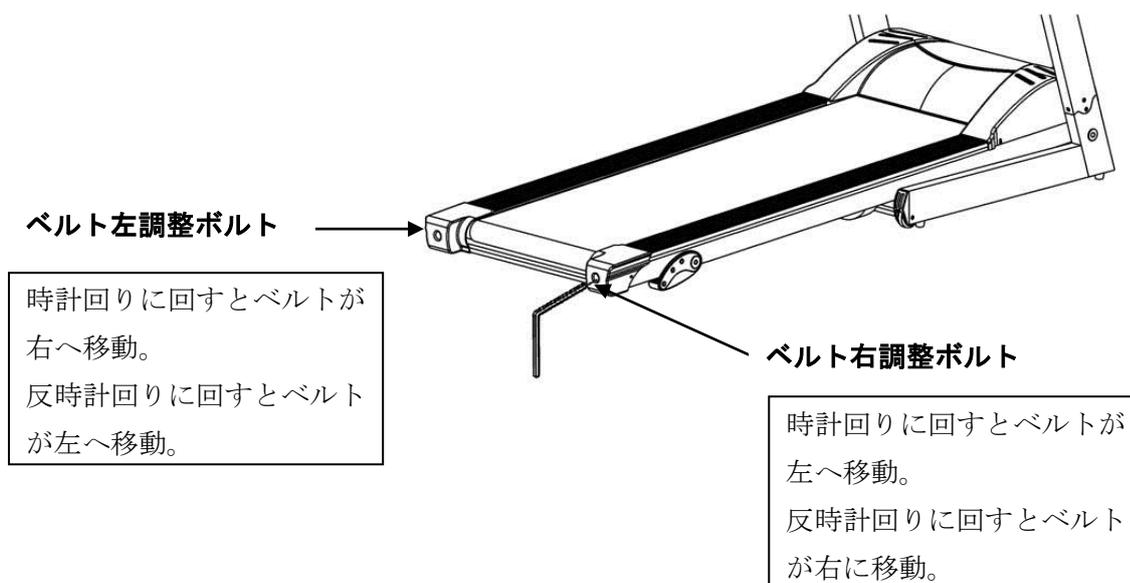
- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

<ベルト調整の注意点>

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

## (イメージ図)



## 潤滑剤（シリコンスプレー）のつけ方

本製品のウォーキングボード（以下：ボード）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

### 潤滑剤使用の目安

#### ご購入後の初期段階の噴霧目安

- ・ ご使用時間約100時間もしくは、ご購入後約3ヶ月の経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきますので、市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き噴霧して下さい。

#### <上記以後の噴霧目安>

- ・ 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- ・ 最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけて下さい。

### 潤滑剤の使用方法

ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧して下さい。

※ 注意 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえて悪影響（ベルトが滑る）を与えます。

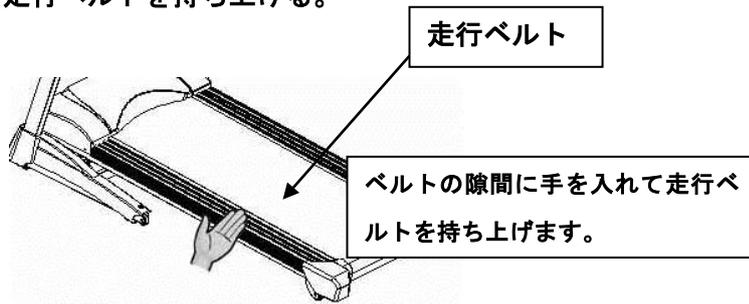
※ 注意 CRC556等機械油を潤滑油代わりに使用しますとかえて滑りを悪くします。

使用頻度が多い場合には回数を多めにするようにして下さい

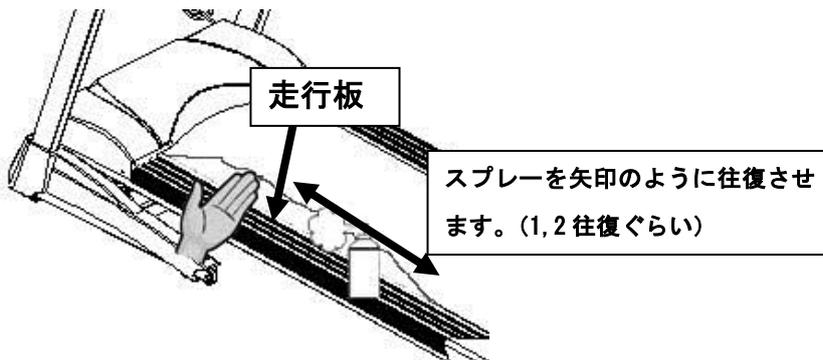
# シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

1. 走行ベルトを持ち上げる。



2. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



3. 反対側からも同じように行います。

\*シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

<シリコンスプレーを噴霧するときの注意点>

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。  
(つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入してください。

## モーターカバー内の清掃について

モーターカバー内にはホコリ等がたまりやすく、そのまま放置し続けると、故障の原因にもなります。最低でも1年に1回はモーターカバーを開けてホコリ等を取り除くように心掛けて下さい。

+ドライバーでネジを緩め、  
モーターカバーを外します。



## トラブルがおきたら

下記のような症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

症状	原因	処置
動かない  (コンピューターが表示しない)	電源プラグが差し込まれていない  電源スイッチをオンしていない  セーフティキーが外れている  ブレーカーボタンが飛び出している  接続コネクタが外れている	プラグをコンセントに差し込んでください。  電源スイッチをオンにしてください。  セーフティキーをパネルに置いてください。  ブレーカーボタンを押してください。  コネクタの接続を差し込んでください。
走行ベルトがどちらかによってしまう。	走行ベルト調整をしていない。	走行ベルト調整をしてください。
急に止まった	セーフティキーが外れている  ブレーカーボタンが飛び出している  ベルトがたるんで空回りしている  ベルトの摩擦が多い  静電気の可能性も考えられます (乾燥した場所等)	セーフティキーをパネルに置いてください。  しばらく操作をやめ、ブレーカーボタンを押してください。 ベルトを張りなおしてください。  シリコンオイルを塗ってください。  静電気防止スプレー等をベルトの裏側につけてください。
歩行中空滑りしたり、止まったような気がする	走行ベルトがたるんでいる  モーターベルトがたるんでいる  シリコンスプレーの塗りすぎ	走行ベルトを調整してください。  モーターベルトを調整してください。  ペーパータオル等で拭いてください。
モーターが熱くなる	長時間使用した  寒さでベルトが縮んだ  ベルトの摩擦が多い	30分以上操作しないでください。  ベルトをゆるめてください。  シリコンオイルを塗ってください。
本体下に粉が落ちる	歩行・モーターベルトがなじんできている	本体の下を定期的に清掃する。
音がする	ガタツキ・キシミ音がする  ローラーから音がする  ベルトが擦っている	設置位置を確認し、ネジを締めなおしてください。 ローラー軸部分にグリース等の機械油を吹き付けてください。 ベルトがどこかにあたっているかを確認後、走行ベルトを調整してください。
コンセントを差し込むと火花が出る	スイッチが入っている	スイッチを切って差し込んでください。

## 保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-0910W 家庭用 電動トレッドミル
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
TEL	— —

販売店：

- 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- 保証期間内に故障した場合は、お買上げの販売店にご依頼ください。その際には本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
  - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
  - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公・塩害による故障及び損傷
  - 保管上の不備による故障及び損傷
  - 不当な修理、改造による故障及び損傷
  - 取付場所の床面の損傷
  - 本保証書の添付のないもの
- 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- 一般家庭以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理いたします。
- 本保証書は日本国内のみ有効です。
- 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。  
ただし、商品をお届けした際の配送伝票がある場合はその限りではありません。
- 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

輸入販売元 大広株式会社  
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜 3-41-4 旭光ビル 2F  
TEL : 03-5652-5056 FAX : 03-5652-5078  
フリーダイヤル : 0120-25-1622  
受付 平日AM10 : 00~PM5 : 00 土・日・祝日 休